

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画 部	小川秀昭	地域企画 課	企画振興 班	花方 聡	0186-63- 1251	地域防災力強化事業	災害に強いまちづくりを進めるため、関係機関の連携を進め、自主防災組織の組織率の向上、リーダーの資質向上及び住民の意識啓発を進める必要がある。	216,004	直営	①防災関係機関・ボランティア等ネットワーク会議(H25.8.7) ②自主防災組織リーダー研修 大館会場48名(H25.7.31)、鷹巣会場85名(H25.8.2) 地域防災セミナー110名(H25.11.20)	県	地域住民	平成25年4月1日	①関係機関による情報交換・意見交換により情報共有が図られた。 ②自主防災組織リーダーの防災知識の習得、意識高揚が図られた。 ③住民の防災に対する意識啓発が進んだ。 ②、③はアンケートを実施し、好評を得た。	引き続き自主防災組織の強化と防災に対する意識啓発を進める。
						平成25年7月31日～平成25年11月20日									
大館福祉 環境部 鷹巣阿仁 福祉環境 部	相澤 寛 石山 明	健康・予防 課	健康・予防 班	兎澤真澄 大塚彩子	0186-52- 3952 0186-62- 1166	生活習慣病予防対策事業	平成23年度に実施した喫煙対策実態調査(大館鹿角地域を対象)により、事業所内での受動喫煙対策が進んでいない現状が明らかになったことから、生活習慣病予防の推進のためたばこ対策を実施する。	555,649 (北秋田地域振興局で一括執行。内、鹿角地域振興局当初予算：195,000円)	直営	①職場におけるたばこ対策オリンピック事業の実施 応募：82施設(大館市:48、北秋田市・上小阿仁村:34) 内訳 コールド：46、シルバー：36(H26.3.31現在) ②イベントを活用した受動喫煙防止及び禁煙指導 ・大館圏域産業祭(H25.10.26～27/大館樹海ドーム/360人) ・比内とりの市(H26.1.26/比内体育館/100人) ・健康・スポーツフェスタ2013(H26.10.5/鷹巣体育館/300人) ・上阿仁村産業祭(H26.10.19～20/上小阿仁村トレーニングセンター/1,500人)	県	鹿角・北秋田地域振興局管内事業所及び地域住民	平成25年4月1日	北秋田地域では喫煙率が高く、職場における喫煙対策の実施状況調査結果でも対策を取っていない施設が多かったことから実施したが、受動喫煙対策の必要性やタバコの危険性を理解してもらう機会となったことから、医師会からは評価された。 また、イベントにおける禁煙指導では、徐々にではあるが自ら耳を傾ける人が増加してきた。	たばこ対策オリンピック事業は27年度まで継続する予定としており、一般事業所に対し、職場内受動喫煙対策の重要性をより一層PRし、意識啓発を図っていく必要がある。 今後、宿泊施設や飲食店での受動喫煙対策の拡充に向けて、関係機関と協議し取り組んでいく。
						平成25年4月1日～平成26年3月31日									
総務企画 部	小川秀昭	地域企画 課	観光推進 班	長崎直樹	0186-62- 1251	森吉山を核とした滞在型観光の推進	森吉山を核にした周辺地域の滞在(滞留)型観光の推進を図る。	179,141	直営	・旅行エージェント訪問 ・秋の実りを実感！根森田農村体験ツアー	県	旅行エー ジェント、 県民	平成25年4月1日	・地域を挙げて合同訪問したことで、等しく旅行エージェントに地域の魅力を伝えることができた。また、訪問先エージェントの管内視察で旅行商品造成のための助言を得た。 ・根森田地域ならではの魅力的な地域資源が確認された。	・オール北秋田として、エージェント訪問を実施。 ・地域の団体の連携を図り、実施。
						平成25年4月1日～平成26年3月31日									
総務企画 部	小川秀昭	地域企画 課	観光推進 班	長崎直樹	0186-62- 1251	大館能代空港、秋田内陸線の利活用促進	大館能代空港及び秋田内陸線の利活用の促進を図る。	951,029	直営、負 担金	・旅行エージェント等訪問 ・二次アクセス等評価 ・森吉山二次アクセス運営協議会負担金 ・ひな列車支援 ・阿仁いけばな芸術祭支援 ・啓発用団扇の作成	県、森吉山二 次アクセス運営 協議会	旅行エー ジェント、 森吉山二 次アクセス 運営協議 会、県民	平成25年4月1日	地域のPRができたほか、関係者の意識の高揚につながった。	・招聘事業者により、森吉山観光の課題や期待が浮き彫りになったことから、それらを森吉山観光バスに反映。
						平成25年4月1日～平成26年3月31日									

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
農林部	高橋 徹	農業振興 普及課	企画・振興 班	進藤 安 佑美	0186-62- 3950	田んぼアートによる景観 づくり事業	地域住民の繋がりを育む とともに、観光客が訪れた くなる景観をつくり、内陸 線の集客力アップを図る。	904,897	委託・直 営	田んぼアートの設置 (小淵・平里)	県	地域住 民、大学 生、高校 生、小学 生、内陸 線乗客	平成25年4月1日	・北秋田建設業協会の協 力を得て、より精度の高い アートとなった。 ・内陸線乗客を対象とした アンケートでは、アート目 当てに乗車する人が着実 に増えてきた。 ・田植え・稲刈りの参加者 から、来年度も参加したい との声があった。	・H26は国民文化祭が開 催され、集客が見込まれ ることから、内陸線沿線の アート(北秋田・仙北)の テーマを統一してPRする。 ・引き続き建設業協会の 協力を得て、より複雑で大 規模な絵柄に挑戦する。
						平成25年4月1日～10月31 日									
総務企画 部	小川秀昭	地域企画 課	観光推進 班	長崎直樹	0186-62- 1251	秋田DC、国民文化祭を契 機とした誘客の促進	、地域の魅力を提供す ると共に、情報発信力の強 化により、地域全体のおも てなし力を高める。	762,810	委託・直 営	・管内観光パンフレット の作成 ・秋田DCヒーアール	県	管内観光 関係機 関、県観 光キャン ペーン推 進協議会	平成25年4月1日	・地域の人と食、自然など を併せた新しいパンフレッ トにより、地域の魅力をPR することができた。 ・26年度開催の国民文化 祭に備え、観光関係者など がおもてなしの缶バッヂ を身につけ、管内の気運 醸成を図ることができた。	・26年は国民文化祭開催 年に当たることから、PR 活動を継続する。 ・地域の持続的な観光力 向上に繋がるよう、観光案 内人研修等を実施する。
						平成25年4月1日 ～平成26年3月31日									
農林部	高橋 徹	農業振興 普及課	担い手・経 営班	工藤 三 之	0186-62- 1835	北秋田アグリビジネス支 援事業	地域農業の担い手として、 集落営農組織の法人化、 経営の複合化・多角化を 推進するため。	326,896	直営	・北秋田アグリビジネス チャレンジセミナー開催 ・農業法人と食品関係 企業バイヤー等との情 報交換会(1回) ・先進法人等視察研修 (2回)	県	集落営農 組織、農 業法人、 認定農業 者等	平成25年4月1日	・H25加工部門への取組 が1法人増加した。 ・H25集落型農業法人が1 組織設立。 ・直接販売や加工部門 等、6次産業化に取り組む 必要性を認識することが できた。	・基盤整備地区、任意の 集落営農組織、大規模農 業者の法人化を支援す る。 ・6次産業化に取り組む組 織の掘り起こし、支援を継 続する。
						H25年12月19日 H26年1月30日 H26年2月20日～21日									
総務企画 部	小川秀昭	地域企画 課	観光推進 班	長崎直樹	0186-62- 1251	高付加価値による売れる” 北秋田”ブランドづくり	特産物の積極的なPRを 行うと共に、やる気のある 事業者に対して販路拡大 に向けた支援を実施す る。	2,565,554	負担金・ 直営	・北鹿の恵みマッチング 推進(商談会、セミ ナー) ・上小阿仁村食農観丸 ごと推進協議会 ・道の駅及び直売所と の連携 ・大館・北秋ご当地グル メ秋まつり ・秋田がんばろう市・北 あきた食彩フェアin千林	県	食品関連 事業者、 上小阿仁 村、道の 駅及び食 事のでき る直売所、 地域住民	平成25年4月1日	・意欲のある事業者から は、商談会の前に初めて 開催したセミナーや関西 圏での物販などに継続開 催要望がある。 ・3回目を迎えた大館・北 秋ご当地グルメ秋まつり は荒天ながら、2,500人の 集客があり、地域や商品 をPRすることができた。出 店者や会場からは継続 開催要望がある。	意欲のある事業者への支 援を継続する。
						平成25年4月1日 ～平成26年3月31日									
福祉環境 部(大館、 鷹巣阿仁)	相澤 寛、 石山 明	環境指導 課	環境・食品 衛生班	藤田賢一 (鷹巣阿仁 福祉環境 部)	0186-62- 1167	不法投棄対策事業	大館・北秋田地域の美し いふるさとを育むまちづ くりをするため、監視カメ ラと啓発用看板の設置を行 い、廃棄物不法投棄の未 然防止を図る。	282,500	委託・直 営	大館福祉環境部管内7 箇所、鷹巣阿仁福祉環 境部管内7箇所)に監視 カメラと啓発用看板の 設置	県	地域住民	平成25年4月1日	昨年度監視カメラの撤去 をしたら、廃棄物不法投 棄が増えたとの北秋田市 からの報告もあったなど、 不法投棄防止の抑止力に なった。	監視カメラを使用しない方 法での不法投棄物の抑止 効果
						H25年6月4日～12月28日									
建設部	石川 浩 司	企画調査 課	企画監理 班	齊藤真弓	0186-62- 3111	北秋田まち美化活動推進 事業	道路等の公共空間の快適 な環境づくりの推進する とともに、地域住民のまち づくり意識の醸成、地域 住民自らの公共空間の 快適な環境づくりへの参 画を図り、企業・NPO等 による官民協働の取組の 推進	395,000	直営	・参加団体との協定 ・看板設置 ・補助金交付(希望する 団体のみ)	県	・企業 ・自治会 ・NPO	平成25年4月1日	美化活動実施団体との協 定を締結し看板等による PRを行ったことで、美化 活動への参加意欲の向上 につながった。	既存の参加団体による活 動の継続を図るとともに、 新規団体の発掘により、 事業の拡大を図る必要が ある。
						平成25年4月1日～ 平成26年3月31日									